7月4日 月曜日 3日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646
(直通 販売 〃 0437 広告 〃 3995)
編集局 港区芝田村町5の6
電話 代表 芝(43)1165
振替 貯金 口座 東京170071

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3146号 (昭和24年6月22日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認新聞紙第232号)

あすの暦 7月4日・月 旧5月15日
月齢 14.0
日出 4.29 日入 7.01
月出 前 6.17 月入 後 3.21
満潮 前 3.40 後 6.10
干潮 前 11.00 後 11.20
(大潮)

天気予報
今晩 南の風晴、一時曇。
明日 南の風晴のち曇、北部山沿い俄雨。

4版

「動く見本市」準備進む

年内に出發期待

機械輸出組合 近く通産相へ申入れ

日本機械輸出組合(理事長、弘中協氏)ではマリーン・キャラバン(機械宣伝見本船=仮称)を海外に派遣する計画を立て、関係官庁や船主協会などの協力を得られる見通しがついたので、通産相に補助金の交付などを正式に申入れることになった。これは貨物船に双眼鏡、自転車、ミシン、農機具、小型工作機械などを積込んで、中南米、中近東、東南アジアなどの主要港を回り、船内で見本市を開いて、現地バイヤーの日本機械に対する認識を高め、輸出振興に役立てようというもの。

日本機械輸出組合では今年はとりあえず八千総トン程度の船に約五百トン、価格にして約二、三億円の軽機械類を積込み、台北をはじめ香港、マニラ、シンガポール、サイゴン、バンコック、ラングーン、カルカッタ、コロンボなど東南アの主要十余港を一巡する計画だが費用約六千七百万円のうち競輪収益などから四、五千万円の政府補助を希望している。また船内には通産省の役人に乗ってもらい、輸出手続きがその場でできるように図る考えである。

日本機械輸出組合談=かなり効果があると思う。しかしわれわれがこんなことを計画しているということがいち早く外国に伝わり、西独などは早速これに対抗して同じことをやろうとしていると聞いている。このためわれわれは政府に早く実現できるよう配慮を希望しているが、遅くとも十二月ごろには出発させたい。

輸出価格の強調で 赤字は予想の半分

好調の硫安輸出会社

「臨時肥料需給安定法」「硫安工業合理化および輸出調整臨時措置法」のいわゆる肥料二法により昨年九月五日発足した硫安輸出会社(資本金一億円、社長石毛郁治氏)は当初年間四、五億円の赤字は避けられないと予想されていたが、その後硫安の輸出と国内の二重価格差も縮まって事情は好転し、二十九肥料年度末のこの七月決算は二億五千万円程度と、予想のほゞ半分の赤字でとどまる見込みとなった。硫安輸出会社は肥料二法により国内に肥料の最高価格を設けると同時に、輸出の出血が国内価格に響かないようなタナ上げ機関として、硫安十四社が共同出資して設立、赤字分はそのままタナ上げし、合理化が進むにつれて五年以内に消すことになっている。

これにより硫安の輸出はすべて硫安輸出会社が一手に扱うことになったが、当初はメーカーからの買取価格が輸出価格よりトン当り三ドル程度高いものとみて、年間四十数万トンの輸出で四、五億円の赤字になるとみられていた。ところが硫安輸出会社の二十九肥料年度の収支見込みは買取総額九十二億五千万円に対し輸出総額九十億六千万円で一億九千万円の欠損、これに商社手数料その他経費八千五百万円を加えて計二億七千五百万円となり、優先外貨処理による収入はこれから差引けば計約二億五千万円の赤字にとどまるようである。

このように予想外に赤字が少なかったのは買取価格(国内最高販売価格)がかなり低く、トン当り二万二千円(六十一ドル強)まで押えられた一方、輸出価格は世界的な窒素肥料供給不足で強調の一途をたどり、韓国、中共向けなど大口にFOBトン六十五ドルという黒字が出たためである。硫安輸出会社の二十九肥料年度の仕向地別扱量、価格は次の通りで、赤字になったのはほとんど台湾向け長期契約分だけである。(単位千トン、カッコ内は輸出価格、FOBトン当りドル)

台湾 一六五・五(五六・四〇)
韓国 九一・七(六〇―六六)
中共 五五(六〇―六四・一〇)
沖縄、フィリピン、インドシナ、アルゼンチンその他 六(六一―六五・五〇)

八月以降の三十肥料年度は依然国際価格は強調を続ける一方、国内価格も六十ドル前後に割る見込みなので、ますます二重価格差は縮まり、経費は別として輸出そのものが赤字になることはないとみられ、赤字会社として出発した輸出会社もすでに明るい見通しの方が強いようである。



水入らず

小津茂郎氏一家

写真 左から茂弘君、澄子さん、小津氏、昭君

奥さんまで午歳!

落語地でゆく馬好き

○…小津茂郎氏といえば「あゝ、あの馬のセンセイ…」とくる位有名である。馬の解剖から生理、伝説から歴史、個々の馬の血統、伝記に至るまでなに一つ知らないものはないという馬の権威者。奥さんが午歳で、男の子二人とも馬の医者に仕上げたという。"馬の一家"である。茂郎氏の本業は日本弁護士連合会に所属する弁護士さんだが、馬と弁護士のいずれが本職だか判らない。馬に関する収集品は大変なもので、玄関から応接間、その隣室、自室と家中"うま"でうずまっている。持物も茶碗、湯呑、ネクタイなどもうまづくしで、その数は「数えたことはないが万をこえるだろう」とのことである。

○…茂郎氏は明治三十七年に三重県松阪の大地主、茂右衛門さんの長男として生れ、学習院から京大、東大に学び、宮内省林野局をふり出しに二十三年退官するまでお役人生活、この間「学習院時代乃木馬にのった」ころから生来の馬好きに拍車がかけられ、自他共に許す馬研究家になったのである。馬に関する著書も多く、「愛馬読本」「馬つくりの話」「拍車」「馬クン」「名馬を語る」などとくに先月出版された「うまのり随筆」は一ヵ月で軽く五万を売りつくしている。

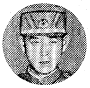
○…小津さん一家は「パパの指導でみんな馬が好き」だそうで、長男茂弘、二男昭両君は小学校に入る前からのり回し、長女幸子さんも"うまい"もんである。お母さんの澄子さんはのれないが「可愛いものですね」とおっしゃり、飼馬や水飼いの手伝いが楽しみだったという。このお母さんは旧公爵の二条基弘氏の二女で、小津さんにお嫁にくるまでは学習院とお屋敷の間を往復しただけの全くの深窓育ち、初めは大変なところにきたものだと思ったという。しかし元来が動物好きで犬、猫、鶏、白ネズミ、兎などは寿命がつきて倒れるまで飼ったそうである。これら家畜が病気になると一家中で寝ないで看病するといった具合。「子供達も可愛い動物のために進んで獣医になった」のだそうである。

○…こうした一家にくる客はみな馬関係ばかりで、話題は殆んど馬である。新聞、ラジオ、テレビ、映画関係で馬を扱うとすればまず相談するのはこの小津さんである。馬友もさまざま、三笠宮から吉田前首相、ストリッパーまで数え切れない。桜洋子さんはいまでも時時現れるといい「彼女も今の旦那と馬で結ばれた」と昔話に花が咲く。本業の弁護士も事件の本人が馬に関係する人だと進んで弁護を引受けるほどで、生きた馬こそ飼っていないがまさに"ウマ、うま、馬"に明けくれる一家である。(S)

引揚げ、年内に解決

貿易代表の訪鮮も承諾

南日北鮮外相 両記者に言明



南日 北鮮外相

二日の平壌放送によれば、北鮮訪問中の永峯共同通信、和田朝日新聞両特派員は二日、南日外相と会い一問一答を行った。南日外相は両記者の質問に答え次のように述べた。

▽在鮮日本人引揚問題 北鮮にいる日本人の引揚問題については日本赤十字社と直接話合い今年中には解決したい。これら日本人の名簿はあなたがた(両特派員をさす)が帰国するまでに用意することは難かしいが、日鮮友好協会の資料などを参照して作りたい。

▽日鮮貿易問題 この問題についてはさきに来鮮した日本代表団に北鮮側の意向を伝えてある。その後朝鮮の貿易界は両国側の貿易を促進させるため準備を進めている。日本国際貿易促進委員会からこのほど朝鮮国際貿易促進委員会にたいし、日本貿易代表団を北鮮に派遣したいと承認を求めてきたので、日本貿易代表団を七月二十日前後平壌に到着できるよう派遣されたい旨の回答を発送した。

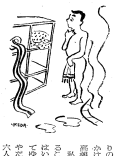
▽在日朝鮮人問題 在日朝鮮人は日本の政治に干渉すべきではない。またこれら朝鮮人が日本の政治に干渉しているというのは日本側の宣伝である。(新亜=共同)

日本国際貿易促進委員会 代表団の人選に着手

南日北鮮代表は二日共同、朝日両記者との会見で日本貿易関係者の北鮮訪問について承認すると言明したが、この北鮮側の回答は一日北鮮国際貿易促進委員会委員長から日本国際貿易促進協会(会長村田省蔵氏)に「七月二十日ごろに到着されたい」と正式にとどいた。日本国際貿易促進協会が貿易使節団を北鮮に派遣するのは日中貿易協定と同様な民間貿易協定を北鮮と結ぶためで、同協会では目下使節団の人選とともに貿易協定の具体案を作成中である。同協会筋によれば使節団は数名で中共へ派遣される貿易使節団に同行して出発するが、北鮮到着は七月末ないし八月はじめになる模様である。

狩人辞事





山の温泉

秋田県の田沢湖の奥の山にある乳頭山の麓に、孫六、黒湯、鶴の湯、蟹湯といった温泉がある。伊豆とか別府とかいった遊興的の設備のない湯治客専門の温泉宿である。湯治客専門というのは、客が自分で炊事をして、寝る布団まで背負ってきて、借りるのは室代というだけの客である。

この乳頭山麓の温泉の建物は、都会人の目には、びっくりするより、珍らしいと思うほどの草ぶきの屋根を持った家棟が宿として並んでいるのである。屋根には合掌式といってこの地方にみる、X形に組んだ木をのせている。「この家は、どの位たつのですか」と訊ねると「ハァ百五十年位たちますかね」と平気な顔している。百五十年というと、大正、明治、慶応、元治、文久、万延という年号を逆ってゆかなくてはならない。もう少し古くなると、文久となり、井伊掃部守が桜田門で殺されたのが万延で、徳川家がまだ存在していた頃である。最近東京の古い写真ばかり集めた本を出したが、さすが東京の町中にはその頃でもわらぶき屋根はなかった。しかし郊外にはまだあったが、今度みた乳頭山麓の温泉は、相当のものであるようだ。

秋田の殿様佐竹侯が入湯したという、鶴の湯では、殿様の泊った室の棟を、本陣と称している。一棟を千いくつに区切って、本陣一号二号と番号をつけている。但し四号だけは鶴の湯に限らず、他の温泉にもなかった。田植がすむと、農人は布団を背負い、リュックに罐詰や野菜をたっぷり詰めこんで、そくぞくと温泉へとのり込んでくる。棟の中にも大小があって、特等、一等、二等と等級の別がある。特等は八畳に次の間つきで板の間に部厚なゴザ敷で、台所がついている。一等はゴザだけ、二等は、ゴザが薄い。これらの借賃が一日特等百円、一等八十円、二等六十円であるといえば、その内容のほども判ると思う。

各室には囲炉裡が必ずあって、ここで炊事をして湯に入って、用がなければ寝てばかりいる。これが田仕事でつかれた身体を癒やす唯一の療法であるそうだ。一家中あげて来ているので、家庭の延長であるだけに、なごやかである。したがって隣室の客の一家とは、来た日からへだてのないつき合を始める。なんにしても温泉へ入るときは裸一貫であるから、これ以上のつき合はない。娘が温泉から離れた所へたき物の落木を拾いにゆけば、隣りの息子は別の道から、娘のところへ出かけてゆく。そこで隣り同士のつき合は高潮に達してしまう。あとは知らない。

私が四つの温泉をめぐって、黒湯に泊ることになって、すぐ幾つもある温泉へはいっていった。熱の湯というのに入ってゆき、スケッチをしていると「あらいやだ、絵をかいている」といって、五、六人はいっていた若い女性群が、パッと湯から上って、身体をふき〳〵逃げ出してしまった。スケッチを終え、私は誰もいない温泉へ、のうのうとひたった。いい気持の目にひょいと着物を入れた棚の方を見ると、私の浴衣の側に赤い伊達巻が、目も痛いほどの色彩でおいてある。一風呂すんで浴衣をきて、伊達巻をクルクルとまるめて私はそれを持って外に出た。この伊達巻の娘は、秋田美人で、桃色のタオル寝巻をしていた、あの娘であるに違いない。届けてやろうかと思ったが、何棟もあるかやぶき屋根の旅舎を一軒ごとに訪ねなくては判らない。夕暮もせまって、私の泊ってる室(これは自炊者でないのでホテル式といって、一般の宿の客並で、間貸室でないところに入っている)に帰ると「飯だよ」と呼ぶ声がするので、伊達巻は宿の者に渡して、食事にかゝった。

その翌日その宿を出て、田沢湖を見て大曲へ出て、東京へ帰った、その時大曲の知人の家で、伊達巻の話をしたら「おしい事をしましたな、その伊達巻を、あなたがその娘の所へ届ければ、その晩はその娘のところへ行ってもいいという、娘の謎だったのですよ、あなたはその娘に一目惚されたのですよ」あゝ惜しい哉。行く前に聞いておけばと、くやしがったが後の祭であった。

宮尾しげを

商品週況

=2日=

砂糖 上日は格別の材料もないのにもどり足順調だっただけに、高値警戒かたがた先物につなぎ売気構えも散見、現物は荷動き一段落のうちに三十一五十銭安。七月は安値四十銭安、八月は六十銭安の各買唱えまであったが、あと落着き気味となり、結局七月で二十銭、八月で三十銭安。ほか変らず。(市中標準品、斤、単位円)

◇現物(問屋仲間) 上白七八―七八・二△上双八二・五―八三△中双八一・五―八二△グラニュー八一・五―八二
◇先物(上白) 七月七八・三△八月七七・八
◇東京砂糖御協組発表標準卸売値=上白(店頭渡) 七九・八
◇含蜜糖 精糖需要に食われて全般に人気振わないが、品薄のうちに前週末とおおむね確り保合。沖縄黒糖はほとんど現物なく、本島物が前週高値見当、大島物は五十九ドがらみ。台湾赤糖も品薄で、七月一日からの税率引上げもあり前週一杯で五十銭―一円方上げたあと底堅い。再製糖も原糖高から軟化していない。(現物、仲間、斤、単位円)

△再製赤糖(玉砂糖) 上物六一―六二△同黒砂糖(焚黒) 五五―五五・五△台湾赤糖(好上斗) 五六・五―五八△沖縄黒糖(四四―二込) 六〇・五

飼料 ふすまの現物は変らず。先物は夕刻からの懇話会待ちで、気薄く、各限とも全く出来ず。七月は前日売唱えと同値の六百三十円見当、八月は二円高の六百三十二円売唱えのみ、九月は保合の六百四十円見当。とうもろこしは輸入アメリカ物、十貫で十円方上進、その他は引合閑散だが変らない。(単位円)

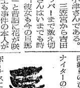
◇先物(ふすま、関東貨車乗) △七月完六三〇△八月完六三二△九月六四〇
◇現物(仲間、産地貨車乗、俵入) △ふすま(三十キロ) 赤白混合六六〇△麦ぬか(同) オール混合、着レール五五〇―五六〇

生薬 不需要期入り、実需筋の資金難から荷動き閑散継続ながら梅雨期だけに産地乾燥遅れで出回りもやや薄く、月初比一部高下。ロート根は採取終了のあと案外の作柄悪を伝えて産地高に追随、貫四十―六十円高。きささげ実は小口買が活発に続いて一部で五十円高も通しているが、実勢強保合程度。丁字は産地豊作のジリ安に追随、斤二十円方続落。(仲間、斤、単位円)

△黄連四一〇―四五〇△川きゅう三五―四〇△しゃくやく七五―八〇△当帰四五―五〇△桂皮七五―九五△甘草五〇―六五△せんな葉九〇―一〇〇△ゲンチャナ根一二〇―一三〇△丁字二八〇―三〇〇△半夏一三〇―一五〇△麻黄七〇―九〇△唐大黄一五〇―一八〇△紅花一一〇―一五〇△甘茶六〇―七〇△牛黄(匁)一、四〇〇―一、六〇〇△決明子六〇―六五△サフラン一六、〇〇〇―一八、〇〇〇(以下貫)△げんのしょうこ一四〇―一八〇△どくだみ一四〇―一七〇△花せんぶり一、三五〇―一、五〇〇△きわだ皮二八〇―三〇〇△ロート根五五〇―六〇〇△桔梗根二三〇―二五〇△片ぶくりょう四〇〇―六〇〇△きささげ実五〇〇―六〇〇

ないがい川柳

吉田朴訶選



避妊薬ついでのようにソッと買い 中央 猪知帆見
噂だけとは思えないイヤリング 杉並 吉岡喜雄
雨漏りの音が変ったみ面器 新宿 斎藤耕月
ナイターの嬢気になる延長戦 北多摩 近藤勇
ボーナスに目論見あった妻の酌 市川 原喜代司
なぐられて知る学長の悲哀感 板橋 阿伊代
賦写会の踊りは逆に金が要り 港 瀬谷蒼笑

内外抄

予算成立で国鉄も国会も夏休み気分、ドッコイ議員は会期延長で日当を狙いてるんだよ。

◇

総評が鳩山内閣と「対決」するにきめたと。どんなことかガクのある方がたのいうことは判んねえ。

◇

南日北鮮外相が邦人引揚げを年内に解決すると言明。中共も北鮮もソ連親分の右ならえ。

◇

北鮮の「地下代表部」を洗って入国管理の穴がわかる。日本の役人の目は節穴だとさ。

生産者代表 強硬反対か

"大幅に引下げたい" 農相言明 肥料・飼料の値段

河野農相は三十日の参議院予算委員会で肥飼料の値下げに関し次のような注目すべき発言を行った。

「肥料は七月二十日までに開く肥料審議会で硫安を一カマス二十円以上引下げるよう諮問するつもりだ。飼料もふすまなど先物は六百円台になっているが、なお引下げに努力する」

【解説】二十九肥料年度(二十九年八月―三十年七月)の硫安最高価格(基準価格を設けて上下十円の限月差を設けた)は十貫入一カマス八百二十六円弱(指定駅貨車乗渡し)であるから、政府原案が河野農相の発言通り昨年度より二十円以上の値下げとなれば、一カマス八百円を割る可能性もでるが、肥料審議会では生産者代表がかなり強硬な態度を採ると予想されている。

政府が二十円以上値上げする根拠をどこに求めるかが問題だが、これまでに事務当局が各工場別に調査したところではコスト低下の幅は予想より小さいようで、業界では電力、硫化鉱など主原料の値上がりや労務費の上昇で、増産の割にはコストは下がらないと主張しており、さらに合理化工事は巨額の資金を要するうえ、試運転期間も長いので合理化ですぐにコストが下がるというわけにはいかない点を挙げている。

したがって次の審議会ではこれらの点について政府原案の算定基礎が問題の中心となり、さらにどれだけの工場を採算圏内に入れるかという最高価格の決め方が論議されるとみられる。八百円を割ればトン当り六十ドルを下回って国際価格に近づき、輸出競争にますます有利となるが、いずれにしても三十肥料年度の硫安価格は一カマス八百円を中心にしてもみ合うことになるようである。

台湾米は豊作

【台北三十日発UP=共同】国府当局筋は三十日、今年度の台湾米の収穫予想高は百八十万トンで、昨年度より二十万トンの増収となろうと言明した。この見積りは秋の第二期作が豊作とみられているからで空前の産額である。

製氷設備一式を受注

名古屋市中村区笹島町一、日新通商株式会社はこのほど台湾麦酒購買局向け製氷プラント一セットを受注した。メーカーは大阪の長谷川鉄工で、製氷能力日産百トン、金額三万三千ドルで九月船積の予定。

セニ氏の組閣有望 イタリア



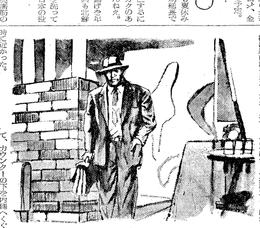
【ローマ二日発AP=共同】イタリアの自由党は二日、組閣の下工作をつづけるセニ元農相(キリスト教民主党)と会談後「中道四政党からなる連立内閣はイタリアの利益のために必要である」との声明を発表した。このためセニ氏は同党の支持を得て組閣の確信を固め二日夜にはグロンキ大統領に正式に組閣受諾を回答するもようである。【写真はセニ氏】

ハンガリー 首相解任説

【ウィーン二日発ロイター=共同】ウィーンに到着したブダペストからの旅行者の話によると、ブダペストではこのところヘゲデュシ首相が解任されたといううわさがひろまっており、間もなく重要な政府の再編成が発表されるだろうといわれる。このうわさによれば、さる四月十八日ナジ前首相のあとをついで首相に就任したヘゲデュシ氏は六月はじめに解任されこのところ政府文書の署名者となっているゲロ第一副首相が間もなく正式に首相に就任することとなろう。

青春無宿 (55)

大林清 作
下高原健二 画



晝の狼 (九)

「実は昨夜、少しはげしいことを云ったんで気にしているんです」

次郎がだまっていると、榎はしよげかえった様子で云った。

「それで今日、あの人の家へ行ってみたんですが、何でも早く出たと云うことなんで…」

次郎は、光代がほかの勤め先を探してあるいていたことを、云わないことにきめた。だが、光代の口から、昨夜の仔細が榎に語られていないとすると、たとえこの場へ千子が現れたとしても、用意して来た言葉は云えないことになる。どうやら出なおした方が賢明らしかった。

「あんたまだここにいますか」

「ええ、もう少し待ってみます」

榎は腕時計を見た。かれこれ七時に近かった。

「じゃァ僕はまた…光代さんのことは心配しなくってもいいですよ」

相手に通じたか、通じなかったかわからなかったが、そう云ったのといっしょに、次郎は榎の前から離れた。

その時だった。階段をあがりきった靴音が、戸口へ立ちどまり、

「あら、ママごいっしょじゃないんですの?」

次郎の位置からは見えないその相手へ、真弓が甲高い声をかけた。

「光代は来ているかい」

太い男の声がそうきいた。

「まだなのよ、そんなところに立っていないでおはいんなさいよ。昨日ママの電車には間に合ったんですの?」

「間に合わなかった」

そう答えた男の姿が、ノッソリと入口をはいって来た。

「光代は遅出なのかい」

真弓はさじを投げたように云った。

「うちのお水は高いわよ」

「水でももらおうか」

男は次郎と榎の方へ、うさん臭そうな眼をむけながら、小わきにして来た革鞄を、カウンターへのせた。

「はいウォーター、菅野さん」

真弓が水に氷をうかべたグラスを、菅野の前へ滑らせてよこした。

「それがどうしたんです。あんたは誰だね」

次郎は前よりも更に声を落した。榎のいるところまで聞える声だった。

菅野ははねかえすように云った。

「昨夜、この光代さんをつれだしたのはあなたですね」

菅野は無言のまま、次郎をみつめかえした。感じで何かがわかったらしく、この小僧っ子がという傲慢な眼の色だった。

棕梠の鉢陰にいる榎には聞えない声で云った。

「失礼ですが、ちょっとお話したいことがあるんです」

次郎が肩を一とゆすりして、菅野の前へ近づいたのはその時だった。

…て、カウンターの下を内側へくぐりぬけた。

店内を見まわしたその男の顔を見た瞬間、次郎はそれが光代のいっていた千子のパトロンだと直感した。

「そう、遅出は遅出なんですけどそれにしてもちょっとおそすぎるわね。それよりママは一体どうしたんですの?」

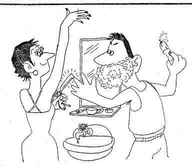
「だからどうしたか知らんよ。一人で熱海へ行って、適当にやってるんだろう」

「ずいぶん無責任ね。何かあがる?」

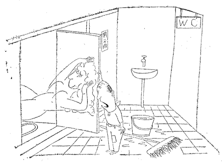

たらい回し　織井いずる
「せめて中身が何であるか知りたいんで…」



願いごと叶うという　鈴木忠三


朝の身だしなみ　笹本弘
「オイ時間がないんだ、早くこっちへよこせよ…」


相合傘　石川金太郎
「片袖濡れるなんてもう古いよ」



大作　有吉まこと

新人マンガ



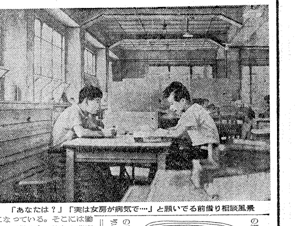
投稿歓迎

スミ書き　構想自由　なるべく時事を織り込んだもの　締切日なし　本社編集局「マンガ係」宛　裏面に住所氏名及び匿名を明記のこと　採用の分には薄謝を差し上げます

八千人のゴー・ストップ

日本重工横浜造船所の身上相談から

百八ツの煩悩に責めさいなまされる人間族、ましてデフレの世の中ともなれば生死の問題もからんで悩みは深刻、そこをつけ狙って最近は人相、手相のほかもろもろの占いが出現、結構ウケに入っている。ところで三菱日本重工業株式会社横浜造船所内にフトしたきっかけで設けられた人事相談所では勤労課員が所員になって従業員八千人の迷いごと、憂いごと、金欠病その他人事百般の相談ごとに毎日汗だくになっている。そこには働くものの深刻な悩みから重役さんの笑えぬ悲喜劇、珍相談までもち込まれることもあるという。そこでこの世相が生んだ変り種"社員人生パイロット"ともいうべき相談所を訪ねてみた。


「あなたは?」「実は女房が病気で…」と願いでる前借り相談風景

遺骨引取が発端
冠婚葬祭、慰謝料、前借金など　今ではよろず相談所

看板こそぶら下っていないが、所員九名を擁して勤労課人事相談所として名実ともに発足したのは二十三年で、これができるキッカケは一年前の二十二年にはじまる。戦地から続々故国に送りかえされた遺骨の中に三菱造船従業員S氏の遺骨もまじっていた。しかし留守宅ではその日の生活にもこと欠く始末で、骨を祀る費用はおろか、迎え入れる費用さえ生みだせず、思い余った未亡人は会社に「なんとかしてくれ」と泣き込んだ。そこで会社幹部が額を寄せ集めてよりより相談した結果「こんどもあることだからなんとかしよう」ということで、市内の葬儀屋さんから葬儀道具一式を買い整え、勤労課員が出張して諸事万端の面倒をみた。これがきっかけとなり、その後は結婚もというわけで市内の伊勢山大神宮と特別契約し、社員の結婚にはソレッと所員が出雲の神の役目を果したり、いわば揺りカゴから墓場までの面倒をみるようになったものである。

「恐れながら…」と相談にくるうちで一番多いのはなんといっても給料前借り、支払い日一週間前となると日に五百人からの従業員がどっとこの窓口に押しかける。死亡も割合い多く開所いらい二千件くらいに達し、いまでは葬儀道具も四組あり、死体運搬には所内にある診療所の急救車をあてている始末。相談所ここにありの存在が所外にまで知られるようになると、意外なところから利用者が現われはじめた。曰く「お宅のAさんはもう三ヵ月にもなるのにちっとも払ってくれないんですよ」とか「Bさんったら私の店を飲み倒すつもりなんでしょうか?」という飲み屋からの苦情だった、こんなときも所員は「法の建前から給料からさし引くことはできませんが、なんとか致します」と、本人に借金の月賦払いをウンといわせたりもする。

ヒヒ親爺も遂に撃退

ご時世から離婚、暴行の慰謝料相談も多い、こんな例がある―

M君の妹U子さんは福島市の下駄屋さんに勤めにでていたが、結婚話がもち上って上京した。ところが下駄屋の親父は間もなくU子さんの後を追いかけて上京「U子はオレと話がついているから、他へ嫁にやるわけには行かん」という。驚いたM君はU子さんに事情をきくと、夏の夜、暴行されたのがはじまりで、店主はU子さんを妾同様にみていたものとわかった。早速ことの顛末を相談所に持ち込んだ結果、所員の奮闘でこんご店主はU子さんから一切手を引き、十五万円の慰謝料をだすということでケリがついた。

泣きついた重役氏
実は二号追出しの策

こんな慰謝料問題はザラにあるようだ。変った相談といえば開所間もないころ、重役さんがあたふたと飛び込んできた「実はね…」と語ったところによると…自分の家作に、ある女性が住んでいるが、親戚の者が横浜に移転してくるので、でてもらうよう懇請しているが、ちっとも応じてくれない。家賃はタダみたいに安いという。それではと腰を上げた所員、調査を進めたところ重役のいう単なる店子と大家の問題ではなく、実はそこに住む女性は重役の二号さんで、女にあきた重役が追いだしを企てたものと判り、事件は所員の権限外ということになったそうだ。ともあれこの相談所は昨日からきょう、きょうから明日へと歩む悩み多い従業員八千人の十字路に立つシグナルの役目を果しており、評判はなかなかよいようだ。

モダン歳時記
処女地アメリカ

一五八四年七月四日、イギリスの探検家ウォルター・ローリーが、初めて北アメリカの開拓にでかけ今日のヴァージニア州に上陸した。つまり今日のアメリカ隆昌の第一歩が踏みだされた訳で、ヴァージニアの地名は、ヴァージンという意味で彼女王たとも、処女王エリザベスに因んでの命名ともいわれている。

ローリーはアンティヤー・スピリット(ヴァージニア神)をもつ第一目的は容易に達であった。だが彼のアメリカ行はイギリスに煙草と馬鈴薯を伝えたといわれている。そして四十年[illegible]一年のイギリス議会で是非について大論争が起り愛煙家が自説を押し通し流行したのであった。

[illegible]人ローリーによって拓かれたアメリカはイギリス植民地[illegible]百年近く経った一七七六年七月四日に、北米十三州独立を宣言して立ち上[illegible]の隆昌をみるに至ったの[illegible]処女が日に日に少くなってゆくというアメリカの嘗語だ。(鮭)

あすの運勢　＝七月四日＝　高島象山

▲一月生―積業大事と心静かに辛抱強く努力すれば平穏にして無事
▲二月生―物事不振に陥り不安多し殊に不慮の出来事で災禍を招く
▲三月生―何事も順調にして利達栄昌に赴く積極的に活動し目的叶
▲四月生―何事も自信と確信あることに邁進せば栄達あり開業よし
▲五月生―運気動揺して気迷い多し多角的のものは失敗す慎重なれ
▲六月生―気運向上して目的叶い利達栄昌あり起業開業結婚は大吉
▲七月生―何事も信義を守り至誠を以て進めば次第と向上あるなり
▲八月生―油断して失敗あり忌悔から失態を招く口舌不和争い注意
▲九月生―好機に恵まれ予想以上の栄達あり起業開業移転結婚大吉
▲十月生―何事も信念を以て努力すれば苦労はあるも有利に至る也
▲十一月生―軽挙妄動して自ら失敗を招く慎重に進退せよ病気注意
▲十二月生―進展向上ある日なれば拡張改造或は新規開業結婚大吉

噂も七十五日の人　⑤
全く鮮かな宮様商法
街頭進出第一号の元李鍵公妃
板についたママさんぶり

○…銀座二丁目のプレイガイドのある通りを有楽町駅に向ったところに、小料理"よしの路"の軒燈を吊った小粋な飲み屋がある。一歩店へ入るとサビ朱色の楓模様を織りだした紗の一重に銀地の同じ模様をあしらった帯をキリリとしめ割烹着をかけた女性が「アラいらっしゃいませ」と婉然とほおえみかける。その笑顔にはどこか気品を漂わせているが、これなん知る人ぞ知る、宮様街頭進出第一号として菓子店「桃屋」をだし第二の人生スタートを切った元朝鮮王族李鍵公妃桃山佳子さんの昔かわらぬ艶姿である。

○…佳子さんはその後オモチャ屋、雑貨商、縮緬運、銀座クラブ社長とつぎつぎ商売をかえて、かつての妃殿下として社交界の花形としてさまざまな話題をまいたが、二十六年五月一日夫君の李鍵公改姓桃山虔一氏と皇族離婚第一号の協議離婚をして、またまたジャーナリズムのフットライトを浴びた。それ以後は本当に女のやせ腕一本で同年末、新橋烏森にささやかなスタンド・バー"よしの路のバレエ"をはじめ、手狭になって新橋駅前に移り、ついで二十七年十一月現在の場所で小料理屋経営へと目まぐるしいほどの転換ぶり。これも荒れに荒れた世相をオ覚一つを頼りに生き抜こうの姿で、宮様商法とも思えぬ鮮やかな手際である。

○…離婚のとき「こんどは友情によって交際しよう、そしてお互いに新しい結婚をして…」という約束をとり交わし、虔一氏は次男欣也君(二〇)長女明子さん(一六)二児を、佳子さんはまた長男忠久君(二三)を引きとり麹町の六畳一間のアパートに別れて住んだが、離婚後何日を経ずして虔一氏は噂の女性美子さんと結婚、荻窪に新居を構えた。ついで虔一氏の手許に引きとられた明子さんが、母親恋しさの余り佳子さんをおとずれることが多くなると、虔一氏は佳子さんの勤め先銀座クラブにのり込んで「罪のない子をダシに使うのはやめてくれ」と抗議した。


「これお二階さんにネ」と銚子もつ手もなれた　桃山佳子さん

そのとき佳子さんは「子供は自由意思でくるのですワ」と柳に風とうけながしたが、現在は明子さんも引きとり、親子三人水入らずのアパート生活に毎日を送っている。

○…佳子さんの日課は日曜日を除いて毎日朝七時十分前に起床、日大芸術学部商業美術科一年の忠久君と目白の日本女子大付属高校二年に通う明子さんを送りだし、十二時には築地の魚屋さんへ仕入れにでかける。仕入れといっても魚屋さんの符牒を使って仕入れるわけでない。魚河岸入口にズラリと並んだ魚屋さんで「きょうはこれがいいですよ」「ハイそうですか」とうけとってくる。"よしの路"は午後五時半から十一時まで小料理は板前などおらず皇族ママさんの手で作りだされる。お客とあれば馴れぬ話題でも適当にあしらわなければならない佳子さんの一番の苦手は借金取りだという。"よしの路"を経営してから最高三万円から大小とりまぜて十件近くのコゲつきがたまっている。ヘトヘトに疲れ切った体で帰宅するのは十二時過ぎで文字通りの"午前様"雨の日以外はタクシーを拾ったことがないという節約ぶり。

○…「楽しみといえば、やはり週一度の日曜日に親子水入らずでお食事することですわネ、えっ女中さん? とんでもありません、私どものような生活では女中さんを雇う余裕などとてもですわ。お洗濯も日曜日にまとめてやっておりますの、オホホ…」と笑いは明るい。それにしてもいま一番気がかりなのは虔一氏の許に引きとられた次男欣也君が、学校へも行かずどこか地方の会社に勤めにでていることだという。「なんといっても血肉を分けた兄妹ですから、こうして分れ分れになっているのがふびんで…、やはり私のもとに引きとりたいのですけど法的にいろいろと面倒らしく、気ばかり焦っている始末です」と思いは欣也君に馳せているであろう、目をしばたたきながら答えるよきママさんでもある。「将来は忠久君とご一緒に楽ご隠居さんですか?」ときけば「いいえ、とんでもない、子供は子供、私は私でございますもの、私一人挙して儲けの多い商売…」と、いうとやっぱりこうした小料理屋でも開いて、私が余りこうしてお店に顔だししなくても済むようなお店をやって行きたいと思ってますの」最後に「ご結婚は?」とタタみかけると「それがね、待っているんですけどなかなか申込みがありませんわ」と軽くいなすあたり身についたママ[illegible]った。(A)

宮流世界譚　―日本―

ジェット飛行機[illegible]代遅れ。ロケット[illegible]に成層圏を飛び回[illegible]の時代も近い。そ[illegible]界にもわずか七日[illegible]で行けるという噂[illegible]横山家の夕食後の[illegible]み話に出ました。[illegible]ア科学の進歩って[illegible]わネ、わたしせい[illegible]長生きして月の世[illegible]旅行してみたいワ[illegible]ネ、あなた」細君[illegible]がもう目の前に来[illegible]うな張り切り方で[illegible]早いんだね お前。他人に笑われるぜ」「だしまだ若いのヨ、これ早いの当り前だワ」話「あなた、月の世界に一体どんなものが見られるんでしょうネ」あんまりお先き走る細君に、横山君、気がなさそうに「ウン、そうだな。月のものが見られるさ、誰にだって」ず[illegible]で聞いていた今年七十[illegible]ん、急にモジモジしな[illegible]ら、いやだよ。わたし[illegible]ものにも月のものがみ[illegible]うになるのかい?」

浪人街道　(206)
木村荘十　野口昂明画

天守閣(三)

山車の将門は、鷲く修理の一味をはったと睨んで、

「鉄砲組とは片腹痛い。この天守閣の飾物に、うろたえ騒ぐ有様は大逆の陰謀を自白するも同然。上意だ、神妙に致せ」

修理は一瞬、蒼白になったが、相手の権威を傷けようと、肩をあげてカラカラと笑った。

「乱心ものが、何をたわごと…かかれ。手にあまらば鉄砲で討ちとれ」

護衛の足軽小者はそれに勢いづいて、バラバラと討ってかかろうとした。

「待て、はやまって後悔するな」

将門の山車の前にすっくと現したのは、前の家老の高森伊織だった。

「各々、壇上の将門に扮するは領主が御曹司、啓之助君にわせられるぞ。無礼者ッ、退が[illegible]」

「なに、啓之助だ」

修理が、将門を見上げたと[illegible]啓之助は刀を左にうつす手を[illegible]ず、はっしとばかりに、修理[illegible]元へ手裏剣を打ち込んだ。

修理は、慌てて身をかわしたが、手練の剣は彼の肩口に突き刺いたので、手兵に乏しく、たちまち、啓之助の手勢に押しまくられ[illegible]



[illegible]きった。

身を翻して逃げ込む修理、それを合図に祭屋台、山車を曳いていた浪人組の人々は、祭半てん、花笠の派手な扮装のまま、かくし持[illegible]て、本丸の中に逃げ込んだ。

「鉄砲組はどうした。鉄砲組」

しかし、人情の浮薄さ。鉄砲組は重代の家老職、人望家の高森伊織が若君のために下知をとると見ると、続々と寝返りをうった。

帯刀という変名で、江戸で数々の悪事をして来た修理の軍師格、中川宗範も、今は施すに策がなかった。

頭髪はざんばらになり、衣服は裂かれ、浪人組の激しい斬込みのため身には数ヵ所の傷を負ったうえに、頭から返り血を浴びて、悪鬼のような姿だった。

「伊織の老ぼれ奴が…利口に楽隠居と見せかけて、よくも俺を騙しゃアがった…カラス組を指揮するとは露知らず、本望成就を目の前に、この有様…うぬ。こうなるからは冥土の道連れだ…各々、来い」

屈強の手勢を連れて、伊織を探し求めた。

伊織はなにより先に天守閣の御主君をと、本丸に攻め込んでいたが、宗範は、それを見ると小おどりして伊織に迫った。

「伊織。中川宗範だ。命は貰ったぞ」

死もの狂いの壮漢が、さっきからの血闘で、錆のようになった大刀を振りかぶる。

伊織は無言、老の身に疲れを思って柱を背に、音もなく細身の刀を青眼につけた。

ラジオとテレビ　3日(日)

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 国会討論会 福田赳夫 平野三郎 武藤運十郎 井堀繁雄 根本長官	00 音楽の泉 聖譚曲「天地創造」より 横井輝男 30 パンと恋と夢 南部	05 これからどうなるか 15 民謡お国自慢(新潟) 30 歌謡曲 市丸 雪村他	00 三つのスリル 杉本アナ 南部僑一郎 35 よい子の新聞(松本)	00 演芸ゴー・ストップ 30 劇「風雲黒潮丸」伏見扇太郎 古賀さと子ほか
7	15 録音ニュース 30 今週の明星 藤山一郎 小畑実 原田美恵子 吉岡妙子 夜の湖ほか	00 ジャズはいかが 山田一郎・鈴木章治・NHKの三つのマンボ集 30 録音「僕らのガリ版」	10 録音ニュース 20 極楽演芸会 落語❶権助提灯 三遊亭円遊❷寝床 桂文楽	00 録音ニュース 10 お好みヒットメロディ 30 東京キューバンボーイズ「カチータ」ほか	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ 30 ミュージック・ホール「マンボ大会」
8	00 ❶声帯模写 ワタナベ正美❷落語 桂右女助 30 なんでも入門「海上保安官の巻」森繁久彌ほか	05 新しいオペラの方向 藤原義江 野村光一 30 科学談話室 高木純一 平田森三 杉靖三郎ほか	00 劇「鶴八鶴次郎」淡島千景 花柳喜章 小堀誠 30 劇「花嫁はどこにいる」佐田啓二 越路吹雪ほか	00 三つの関所 今泉良夫 田中明夫 佐藤美子 30 劇「飛べ青い鳥」木暮実千代 松島トモ子ほか	00 素人ラジオ演芸会 丹下キヨ子 村上アナ 40 オールスター・ジャズ・パレード 丸山清子他
9	05 ニュース解説松宮克也 15 私は誰でしょう 司会新藤アナ 40 あらしの中の教科書	00 邦楽風物誌❶清元「六玉川」志寿太夫 栄寿郎❷謡曲「賀茂」観世元正 島沢啓次 寺井政数ほか	10 浪曲名人席「[illegible]太閤記」春日井梅鶯 40 お笑い街録「海が良いか山が良いか」	00 歌謡ゲーム 大久保怜 柳家金語楼 中芝由美子 30 チエミと歌えば 木村令子 江利チエミほか	00 妖気怪談咄「鏡の幽霊」三遊亭円歌 30 浪花節「小金井桜」❶滝小柳
10	15 物語「富士に立つ影」徳川夢声 45 新聞をよんで	00 スポーツダイジェスト 30 各国のソ連残留者の現況 吉田元久	05 きょうのニュースから 15 歌のカクテルパーティ 45 コーラルジヤズクラブ	00 大学受験夏期実力講座 幾何 清宮俊雄 30 生物 湯浅明	00 歌の明星 永田トヨ子 青木光一 中村メイコ他 35 スポーツ・カレンダー
11	10 夢のハーモニー 20 随筆「立田川」今東光	00 南米の内外 君塚慎 20 日本脳炎の看護	10 北から南から「各地の夏だより」◇政局の動き	00 録音構成「前科者」 30 夜のラテン・リズム	00 小唄 蓼胡津留ほか 20 ニュース解説森崎園雄

テレビ

★NHK★ ◇6・00 たのしいお部屋◇6・30 テレビてん助◇7・10 家庭かるた 市村・楠◇7・30 今週の明星 藤山 小畑ほか◇8・00 ラジオ寄席 正美 右女助◇8・30 ジエスチヤー 水の江滝子 金語楼ほか

★NTV★ ◇6・00 はてな学校◇6・30 サンデー特集◇7・00 東京宝塚劇場から「舞踊・春夏秋冬」長谷川一夫 中村扇雀他◇8・15 マンボ・フイエスタ歌・ペギー葉山ほか◇6・00 イタリア映画「パンと恋と夢」抄

★KR★ ◇6・00 名作童話劇「長ぐつをはいた猫」◇6・20 映画「村でも町でも」◇7・00 映画「豪快三人男」片岡千恵蔵 市川右太門衛 月形竜之助ほか◇8・45 映画「月と星」◇9・00 ニュース

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 斎田喬 8・15 名演奏家の時間 8・15 夏の味「山」野間仁根 9・15 映画館でのレイギ 10・10 けさの話題 11・15 朗読「足摺岬」	8・00 療養相談 長井盛至 8・30 大作曲家の時間 9・00 きょうの学校放送 10・45 人間の寿命 杉靖三郎 11・15 音楽の旅 百瀬三郎 11・45 就職と適性 望月衛	8・20 ラジオ・スケッチ 9・45 我が家のひととき 10・10 名作「山椒太夫」 11・35 音楽のスーツケース 12・15 萩原哲晶と楽団 1・30 婦人の窓「闘争宣言」	8・25 おしゃべりレディ 9・30 劇「青春のある所」 10・40 劇「君ひとすじに」 11・35 連続劇「東京の人」 12・00 歌のカレンダー 1・15 三人花嫁 今次・今若	8・10 お早ようブーちゃん 9・00 劇「サザエさん」 10・00 やりくりチヨ子さん 10・15 涼しい夏向きの照明 11・00 連続劇「悦ちゃん」 12・00 漫談 耕田実ほか

流行を創造するプリマ
ターザンショーツとは?

今年の夏のヒットは「ターザンショーツ」だという。試みに後楽園プールを覗いてみたら、七〇パーセントが「ターザンショーツ」を穿いていた。

これは台東区御徒町の「三共スポーツ商会」の製品だが、いつもスポーツ用品についての研究を怠らないからとはいえ、毎年ヒット作品をつくる技術員の努力は大したものだ。社長山口義彦氏の陣頭指揮が効を奏すらしい[illegible]となったのもこの若い社長の意気と熱と努力にあったといっていい。月に一度は社長以下従業員が全員集って販売と生産技術の研究会を開いているというのもそのいい例だ。


三共スポーツ商会　社長　山口義彦氏

後楽園アイスパレスの内部と小石川橋電停前にサービスショップがあり、往年のオリンピック選手片山氏、稲田悦子さんはここの技術顧問だ。

【訂正】六月二十七日付本紙掲載の新案特許の磯千鳥という見出しは新案特許「磯白魚」の間違いでした。

長崎カステラの由来
栄養価も牛乳の六・五倍

スペイン語のCASTILLAはつまりカステラだが、この菓子が日本に伝わってからおよそ四百年になる。その起源はスペインの尼寺にあるといわれるが初めポルトガル人によって長崎で作られたものがつまり「長崎カステラ」である。現在のものになる迄三百年もの間、日本人の味覚に合うよう独自の研究と発達を遂げ今日スペインの「アストルガ」の駅売として残っているカステラと比べると非常に隔りがあるという。だから「長崎カステラ」以後に江戸その他の各地に伝えられ、作られたものとはその発展の系統を異にしているものだ。

この「長崎カステラ」の本舗は既に有名な「文明堂」だが、カステラを焼く釜も当初の炭焼から瓦斯釜、更に電気釜と近代化し、原料の配合にも新生面を開いて、販路も全国に拡大、現在東京、大阪など一流都市を初め三十ヵ所に店舗を有する一大カステラ王国である。この功績者は長崎本店の社長中川安五郎氏とその実弟、銀座店社長の宮崎甚左衛門氏だ。

宮崎社長は大正十年長崎から上京、以来東京を基地として東国一帯に販売網を拡げ、釜も電気釜に改造して大量製産に成功した。



大正十四年宮内省ご用になったのも長崎カステラの味が認められたことは勿論だが、宮崎氏の不屈の努力が実を結んだものともいわれている。

長崎カステラは味ばかりでなく栄養的にもすぐれ、或る医家の報告によれば百匁のカステラは三百二十三カロリーあるが、これを同量の豚肉と比べると二・二倍、牛乳の六・五倍になるという。

その道をきく　＝⑧＝

その道の成功者、権威者といわれる人の苦難の道は、そのままわれわれの光りでもある。いかにして、今日の大をなしたか? これが"その道をきく"特集の目的である。

三信ビルに巣食うダニ

LCと事務所で信用させ 取込サギ二千万円

女事務員片ッ端し手ごめ

朝鮮人三人組逮捕

東京の伏魔殿、悪の巣といわれる日比谷三信ビルを根城に二千万円にものぼる取込み詐欺を働き、それぞれ四、五名の妾を囲っていた朝鮮人三人組が三日朝までに丸ノ内署に検挙された。



(上)から姜柏中、吉元誠、高桂淳

一味は 港区芝城山町一〇前科一犯無職大島徹夫こと 姜柏中(四二) 同区麻布谷町一〇西村一雄こと吉元誠(三三)中央区 銀座西 七の二高平淳こと 高桂淳(三六)の三人、昨年九月ごろ姜が以前「産経時報」という新聞を発行したころの社員吉、高の二人を仲間に呼び込み、千代田区有楽町一の二、三信ビルの一室を借りて国際貿易株式会社という看板を掲げ、中共、香港、台湾、韓国に物資を輸出すると称してLCを利用して詐欺を働くことを計画した。

このLCというのはレタークレジット(支払証明)で、外国商社が日本支社から購入した品物を送らせる場合、本社はその代金を銀行に積立て、支社の取引銀行に通知すると銀行から証明書をくれる。これがLCで、この証明書に船積証明書を添えて銀行に行けば現金になるというもの。LCがあるからと偽り、事務所が三信ビルにあるといえば大ていの相手は大きな貿易会社と信用するので国際見本市でバイヤーを物色しては事務所につれ込み大ボラで信用させていた。

この手でさる二月十三日大田区原町九五山王編物研究所(太田耕緯知氏)で製作している「スター手編器」七百台(二百卅万円)を海外向けに輸出するともちかけ、中央区日本橋蠣殻町の渋谷倉庫に品物を納めさせLCと交換条件で倉出し証をとった上、品物を出して神田駅前の担保金融日新商会に半値にダンピングして叩き売った、このほか中野区鷺ノ宮一の三五三児玉千里子さん(四九)の編物研究所からキング編物器約二十台を詐取するなど三菱貿易、国際通商、国際貿易、インターナショナル・コーポレーション、国際交易公司、三栄物産など千種類にのぼる架空会社をデッチあげ、ミキサー、タイプライター、薬品、化粧品など卅件約二千万円の輸出取込み詐欺を働いていた。

また一味は新聞に「電話加入の申込み受付けます」という広告を掲げ、この広告料八万余円を踏み倒したうえ二月十八日港区三田豊岡町八日本舞踊家中山華子さん(三八)がこれにつられて三信ビルに行き「三田の電話局長を知っているから予備線がなくても一週間以内に必ずひく」という言葉を信用九万円の申込金を払うと、姜らはこれを受取ったまま姿を消すという悪質ぶり

彼らはさらに新聞広告で女事務員を募集、応募した女性を姜は政界読物関東総局長兼大阪支局長、吉は貿易商だといって信用させ手ごめにした。事務員のほとんど全部の十名近くがそれぞれ女秘書兼妾になっていたという乱脈ぶりだった。姜は妻子があるにもかゝわらず中華料理店で知合った上野の東京芸大ピアノ科の女生徒(二)に、韓国から特派された記者だと偽って近づき情婦にし自家用車を乗り回すなど豪華な生活をしていた。山王編物の太田さんからの告訴で一味の犯行が明るみに出たもので丸ノ内署では共犯の山崎某を追及している。





(上)江ノ島海岸シーズン初の賑わいと (下)避暑客でごった返すけさの東京駅

湘南、箱根大賑わい

まず海へ バンガローはまだこれから

海、山シーズン初の日曜日の三日、北海道を除き全国的な高温と快晴にめぐまれ湘南の海水浴場、箱根、アルプスなどはじめ海山とも今夏最高の人出を記録した。

△鎌倉＝由比ヶ浜海岸は午前中早くも五万、よしず張りの海の家も昨年の不振をとりもどそうと大童、江之電経営のバンガローから波に飛び込んで行く若いカッパ連も多いが、大半はまだ肌寒いのか砂浜の中の「仮眠」をむさぼっていた。

△箱根＝前夜からの泊り客をふくめ午前中ざっと二万、小田原駅の乗降も前週の日曜日より二割方多く、日帰りハイカー姿や団体客が目立っている。全山十一ヵ所のバンガロー村キャンプ場はまだ利用客は少く、本格的な人出は次の日曜日ごろでしょうと地元観光協会ではいっている。

△谷川岳＝上越国境谷川岳は梅雨晴れにめぐまれ絶好の山開き、前夜から土合山ノ家は谷川温泉などに泊った第一陣と朝の列車で乗り込んだ 登山者は 合計約五千名うち三分の一が女性だった。

△日光方面＝東武の夜行電車の団体客百三十人を先頭に中禅寺湖華厳峡方面への登山客が目立ち、平日より約三割増しの三千人。

役人に化け手付サギ

父子二代別荘行 母は悲観し自殺はかる

淀橋署では三日朝、日本ビール、東芝電気、日本郵船など著名会社の社員の名刺を偽造して都内、埼玉県下で約百万円の手付金詐欺を働いていた埼玉県飯能市飯能二の一三無職前科二犯榎本太一(三三)を詐欺容疑で検挙した。

調べでは榎本はさる三月十七日郵政省の役人に化けて同県狭山市豊岡町の茶商繁田豊次郎さん方を訪れ「郵政省大臣官房審議室に勤めているが、一年間三百万円ぐらいの取引をしたい」偽名刺を出して信用させ、契約保証金と称して現金二万五千円をだまし取ったのをはじめ、昨年暮ごろから判っただけでも三十数件約百万円の手付金詐欺を働いていたもの。

なお榎本の実父は詐欺ばかりの前科三犯で現在府中刑務所に服役中で、榎本は十九歳ごろから広告詐欺をはじめて捕ったことがあり、この詐欺父子に母親はあいそをつかして昨年暮ごろ自殺を図ったこともあった。

俄か未亡人を仕立て相談所でひと儲け

学生の被害約百名 大学生も一味に混る

万世橋署では三日朝までに江戸川区平井町二の四〇七無職野崎清(三)三神奈川県津久井郡牧野村字篠原一四〇四国学院大学四年生佐藤重平(三)北区王子一の一料理店女中山田洋子(三六)の三名を職安法違反詐欺容疑で検挙した調べによれば野崎らは 結婚相談詐欺を計画、さる五月千代田区神田鍛冶町三の七丸東ビル三階の一室を借り、知合いの山内を「紳士の宴会があるから」と事務所につれこみ「一人につき分前五百円やるから援助を望む未亡人になりすましてくれ」といわれ山内も共謀、新聞に結婚、交際援助、ステッキガール、レディガイド、レタークラブなどの広告を出し宣伝、百名以上にのぼる学生から申込金あっせん料として約二千円をだましとり、約二十万円の暴利をむさぼっていたもの

竹内、判決無効の申立

六月二十二日最高裁で死刑の判決をうけた三鷹事件竹内景助被告は二日、自由法曹団上村進氏ら二十五弁護人を代理人として最高裁大法廷に判決宣告を無効とし、原判決を破棄して事件を東京高裁に差戻せという判決訂正の申立を行った。これによると一、判決当日弁護団側から出された裁判官忌避申立が適法であるにもかかわらず、不当に却下して判決を行ったのは違法、無効二、裁判官の意見が多数、少数の意見に分れたにもかかわらず、口答弁論を開かず上告の理由がないとして上告を棄却したのは違法、違憲である。など五点があげられている。



元自衛隊員二名が自動車強盗

三日午前二時ごろ台東区浅草日本堤二の二九都相互タクシー運転手川崎隆司さん(三九)は、浅草山谷から向島までの約束で乗せた二人連れの男に白鬚橋付近で客席に引きずり込まれ、二人組が車を運転「金を出せ」と脅された。車が墨田区向島寺島町広小路交番前にさしかかったとき川崎さんは暴れて車外に飛び出し助けを求めたので、同交番の古屋巡査が通りかかった小型タクシーで追いかけ、同町六の一〇二先路上で二人組を逮捕した。向島署の調べでは二人組は兵庫県生れ岡山秀司(三〇)大阪生れ末岡伸介(三〇)といい、先月二十二日北海道岩見沢自衛隊第一〇二施設大隊を除隊、国に帰る途中金を使い果し自動車強盗を働いたといっている。

袋叩き、腕時計奪う

三日午前三時ごろ新宿区歌舞伎町八七九先新宿区役所前暗がりで、北区稲付町四の六〇店員乳井好和さん(二八)はすれちがった四人連れの若い男にいんねんをつけられて袋叩きにあい、顔に全治二週間の傷を負わされた上腕時計一個を強奪されたと淀橋署に届出た。同署で手配中間もなく現場付近で、同区東大久保明治学院学生少年A(一九)と住所不定無職少年B(一八)の二人を強盗傷害現行犯で逮捕。逃走した共犯二名を追及している。



自転車借逃げ

子供を手先に40台

荏原署では二日夜住所不定無職小林千城(三三)を詐欺の疑いで検挙した。調べによると小林は戸外で遊んでいるこどもに「自転車を借りたいが、この辺に貸自転車屋があるだろう」と、こどものよく知っている店に案内を頼み、こどもの顔で店主を信用させては自転車を詐取するという手口でさる六月二十三日品川区西品川五の九九〇自転車屋岸剛さん(三五)方から同町五の一〇一八樋口正子ちゃん(五つ)を利用して大人用自転車一台(五千円相当)を借り出して詐取したほか、大田区、品川区内の自転車屋から四十台、約二十万円を稼いでいたもの。取った自転車は区内の古物商に売り捌き遊興費にあてていたが、中には利用されたこどもが親たちから叱られ何も知らない童心をむしばんでいた。

捜査を男学生へ

謎解くか、ビンの指紋

几子さんの日記発見

自宅で就寝中石油で火をつけられ二日朝死亡した東京都港区青山北町六の二八、洋画家下平修さん(四八)の二女几子さん(一八)＝東洋大学一年＝の火ダルマ事件について警視庁捜査一課は赤坂署と協力、本格的捜査を始めた。当局の調べによると、几子さんの居間から男友だちの批評など克明に書かれた同女の日記が発見され、これによって几子さんの身辺から数名の男子学生が捜査線上に浮んできたので同女の交友関係を中心に追及している。またその後の調査で一、犯行当夜表玄関のカギは開いていた。二、石油の入っていたウィスキービンから家人のもの以外らしい一つの指紋が検出された。などの点から当局ではあくまで面識者の単独犯行とみている。なお犯行前日の二十九日午前零時十分頃自宅前で襲われた事件との関連性の有無についても調べている。

サンデーこぼれ話



パンティ泥棒ご用

主の顔見たさに不法侵入

○…軒下から女性のパンツを盗んだ男が、パンツだけではがまんが出来ないので、その顔みたさに部屋にヌキ足サシ足忍込み、窃盗と住居不法侵入で大森署にご用となった。男は大田区大森二の一五〇工員荘田五郎(三四)で、調べによるとさる六月十日夜八時ごろ品川区大井水神町二四〇〇先をブラリ歩いてくると、日本航空社員山田麗子さん(三三)＝仮名＝方軒下にかけてあったパンツについフラフラとなり、黙って失礼。荘田は帰宅してそれを眺めては一人悦に入っていたが、このパンツをはく人に一度でよいから逢いたい? 欲ぼうの焔をもやし、半月の間につぎつぎと麗子さんのパンツ五枚を盗んだあげく、去月廿八日夜八時ごろ麗子さんの居室に忍び込んだが見つかって大声を立てられ、かけつけた近所の人たちに捕り同署に突き出されたもの。

警棒立て大ムクレ

狂言の運チャン油シボらる

○…むし暑い一日の午前三時ごろ世田谷三丁目 経堂 交番前に中型タクシーがストップし、「強盗に襲われ顔を殴られたうえ売上金一千円を奪われた」と若い運ちゃんが届出た。「スワ…」と色メキたち隣接各署はじめ警視庁管下九十三署に緊急手配を行う一方被害者の調書をとると「わたしは高木一夫(三〇)＝仮名＝で江東区深川永代橋のTタクシーに勤めています。家族は五人、収入は〇〇、次にただいま強盗に襲われたことについて、詳しく申しあげます」と供述したがカンジンなところにくるとこの運ちゃんの申立が食違い曖昧ー「これはおかしい」と主任がなおも突っこんできくと真ッ赤なウソ。この日新宿から二百五十円のエントツで世田谷くんだりまできたがものすごく遠距離に感じ二百五十円のハシタ金ではポケットがうるおわぬから「ダンナ、もう少し酒代を」と居直った? ため客と喧嘩になり、顔を殴られくやしさから狂言の訴えに及んだもの。おさまらないのは張切って捜査にのりだした同署の刑事連「おまえのお蔭で数百名の警察官がこの暑さに無駄骨を折ったんだ」と警棒を立てて大ムクレ、油をしぼられたうえ高木運ちゃんは一応帰された。

夫を間違えた人妻

叱られて家出、警官に救われ幕

○…一週間ほど前の夜、練馬区上石神井の農業山田吾一さん(五三)＝仮名＝の妻U子さん(四三)が八畳の間で子供達とねていると夫らしい男に…。ところが翌朝吾一さんはそんな覚えはないということから夫婦喧嘩になった。吾一さんはカンカンに怒りたとえくらやみとはいえ二十年来連れ添ったボクと間違えるなんてとナジると、U子さんは「申訳ありません、死んでお詫します」と簡単な走り書を残して家出、吾一さんは青くなって練馬署に 被害届、捜索届 を出した。そして「あんなに怒った俺が悪かった、どうか家へ帰ってこい、すべてを許す…」と悲嘆にくれた。U子さんは死を求めてとぼとぼ自宅付近を歩いているのをパトロール中の同署員が発見、家へ連れて帰えり、「もうこれからは貴方の傍から昼でも夜でも離れません……」と詫を入れ円満解決で幕。

こちらもオール・スター戦

チョンマゲ應援団の映画人野球

○…大阪のプロ野球オールスター戦の向うを張って"俳優と楽しむ夢の球宴"と銘打った第三回映画人オールスター戦が快晴の三日午前九時から後楽園で開かれた。内野一、二階席はワンピース、ブラウス姿でうずめつくし、九十%は十代の女性で 後楽園スタンド"夏の珍事"を現出した。

○…これをアテこんだ映画五社はお盆映画の宣伝をとりいれた応援団をくりだしファン獲得に大童、午前九時会社対抗、東宝対新東宝がはじまるころには暑気あたりで倒れるもの十数人、医務室はカンフル注射でテンテコまい。

○…東宝は「宮本武蔵」ののぼりを立て"野球拳"の歌がとびだせば、新東宝負けじと「やりくり社員」の花のアーチを立てて対抗する賑やかさ。

○…午後二時から"スター登場"にスタンドは"佐田チャーン""錦チャーン"と黄色い声があがり池部良、高橋貞二、菅原謙二など日頃なじみの スターがユニフォーム姿でファンの声援に応え、珍プレー続出で喜ばせた。【写真はチョンマゲまで飛び出した東宝側応援団】

独眼灯

○…二日夜十一時ごろ春日交通 西巣鴨 営業所、江場田秀夫運転手(二八)が豊島区巣鴨町一一先を流していると、突然"千鳥足自転車"がふらりふらりとあらわれた。

○…追越そうとすると、酔っぱらってハンドルの手もとあやしいくだんの自転車の主、同区千早町一の二八伊藤さん方筒井友郎さん(三八)がよろめいて、塗装したばかりの江場田さんの車を傷つけたカッとなって「バカヤロウ」と怒鳴りつけて走り過ぎたが…。

○…酒の勢いも勇ましい筒井さんはフルスピードで自動車を追跡け、西部劇もどきに後部のドアをあけて飛び移ろうとしたまではよかったが、とたんに転倒。頭を打って全治二週間の傷を負った。目白署では「運転手は悪くないのだし、片方は ケガしているのだから、結局は筒井さんの骨折損のくたびれ儲けですナ」

裏窓のプロローグ都合により休載

女事務員が 三日朝六時四十五分ごろ江東区深川白河町二の一一会社事務員芳賀喜美子さん(三さは自宅で薬物自殺を図り安江病院に収容されたが一命は取り止めた。深川署の調べでは厭世から。

服毒 二日夜十一時十分ごろ墨田区向島中ノ郷一〇八無職小松崎喬一さん(三〇)は自宅でブロバリン自殺を図り浮島病院に収容されたが、一命は取り止めた。本所署の調べでは神経衰弱から。

東海道「夜行」に投石

【熱海発】二日夜十時四十二分ごろ東海道本線下り広島行急行「安芸」が湯河原ー熱海間を進行中、海側より二等車の窓に投石があり乗客の東京都大田区新井一の二三五早大四年生森信光雄君(二)が顔面に全治二週間の打撲裂傷を負った。石はこどものコブシ大のもので夜間の急行列車をねらう計画的犯行とみて犯人捜査中。

蚊取線香から火事

二日夜六時二十分ごろ新宿区愛住町七食堂支配人鈴木ふぢのさん(四七)方から出火。木造平屋住宅二世帯一棟約十四坪を全焼した。四谷署の調べでは蚊取線香の火の不始末らしい。

南千住で二棟

三日午前六時ごろ荒川区南千住二の八四食肉販売業伊藤啓三さん(三七)方から出火、同家二階建店舗兼住宅と隣りの魚商長島知之亟さん(五三)方二階建店舗兼住宅など二棟六十一坪を全半焼した。朝飯を炊いたかまどの火の不始末からしい。

不在の家から出火

三日午前十一時二十分ごろ新宿区角筈三の二五一会社員遠藤隆治さん(三七)方で家人不在中出火、木造平屋住宅一棟約十坪を全焼した。淀橋署で原因調査中。

あすのスポーツ △野球 都市対抗第四日(一時、神宮) △サッカー 都市対抗(六時半、後楽園) △アマ・ボクシング 都トーナメント(五時、日比谷) △競馬 浦和(正午)

中山競馬六日目成績(晴馬場良)

◇第一サ四20万(千七百)❶フクリユウ(佐々木)1分45秒3❷トウボウスウイパー1½馬身❸アヅマメイジ3½馬身(単)290円(複)160円130円(連)❸―❸670円

◇第二サ四10万(千八百)❶ミスシヨウワ(小野)1分53秒3❷ネオノハナ1½馬身❸クモサト1½馬身(単)970円(複)230円110円(連)❺―❻1710円

◇第三サ障(二千五十)❶オシヤレオー(佐藤彬)2分15秒0❷モナコオー1¼馬身❸カネノボル½馬身(単)410円(複)180円170円(連)❸―❷1660円(重)❸―❺―❸25580円

川崎競輪四日目成績

◇第一B(千六百)❶坂野正2分20秒2❷平川英⅝身❸瀬谷聖(単)120円(複)110円150円130円(連)❷―❶800円

◇第二B(千六百)❶瀬羽浩2分25秒6❷三田昭½車❸中村不(単)220円(複)120円130円240円(連)❺―❸760円

サンデー・スポット

秋田おばこの踊りと唄 渋谷で味わう"ふるさと"気分

嬉しいにつけ、悲しいにつけ想い出される、母のような恋人のような「ふるさと」。それは人の心の奥深くひそむ大人の夢だ。

× × ×

「ふるさと」は、だから一つの抽象だ。秋田でもよし、鹿児島でもよし新潟、静岡、信州でもいい。歴史を語る天井の荒木の梁、黒ずんだ大黒柱、手造りの陶の器に盛られる郷土料理。それにふるさとの唄と踊りが眼のあたりに観賞出来れば、ここは万人の"ふるさと"である。

× × ×

踊りは中川えみ子、高橋れい子、唄は佐々木よしろ、三味は小松つる子などいずれも読売民謡コンクール入選の名手美声の持主揃い。秋田おばこ、真室川音頭、さんさ時雨から五木の子守唄、黒田節や鹿児島おはらまで、全国何千とある民謡で知らざるはないという民謡の宝庫娘が、客の好みに応じて歌い踊りまくるは到底他ではみられない圧巻だ。

× × ×

酒は秋田の爛漫、両関、郷土自慢の料理には、ふき豚のこんぶ巻き、いかこうじ漬、ハタハタずしなど山の珍味が数多い。週に一回特別サービスデーがあって、この日は普段百五十円の爛漫特級を百十円、一級百二十円を九十円、ビール百七十円を百十円にするなど原価を割る程の大勉強をするという。女中さんをそっと口説いて、この日を聞いておくのも一手だろう。

× × ×

「ふるさと」は渋谷宮益坂ビルの一階にある。



続 情炎の千代田城（166）

岩崎栄
寺本忠雄画

閨争（六）

絵島としては、荻原の運命がどうなろうと、またその用人の長井半六とやらが、いかに忠節一途のものであろうと、そんなことはたいして関心を持つ筋合のものではない。たゞ、ほかならぬ交竹院の紹介と、一敵国として対立する御台所と右近の方と、及びその一党への反感から、長井半六の訴えを聞いてみる気になっているので、その長井半六が、交竹院の大奥における勢力を打算し、交竹院の山師的性格の一面を計算に入れ、因業な重秀を動かし、莫大な金品を贈って渡りをつけたことなどは夢にも知る筈がなかった。

かつては、自分が勧めて、上様の寵を引戻すべく、不正な米価の貼出しを、閨中に上訴させた右近の方だったのに、いまではその人を敵として立ち向うようになっている人間関係の流転（人生というもの―世の中というもの）

「召しつれてござるが…」

交竹院の声に、絵島はハッと面を起し、厳然とした大年寄の威儀に、平伏している長井半六の背すじを見おろしていたが、

「御閑静をお騒がせ申上げまして恐縮に存じます。てまえこと、奥山交竹院殿をもって御見参を願い出ましたる、荻原近江守家来、長井半六にござります」

しっかりした、さわやかな語調で挨拶しながら顔を上げたその美男ぶりに、絵島はまたしても、女の芯の奥の底から、何かときめく泉のわきだす思いがして来た。

（なんという不思議な日であろう！　今日は、按摩がいゝ男で、千代太郎が美男で、そしてまたこの長井半六――したが、やはり、一ばん、この男が……年配といゝ、態度といゝ、ズバ抜けてしっかりしている。青々とした月代に照り添うような、ゆたかで漆黒な髷、切れのいゝ眼尻、右の頬にポツリとあるホクロ）

「なにか、御主人お身の上のことで御心配の由、交竹院殿からうけたまわりましたが」

絵島の声に、ひどく若やいだ艶が添っていた。

「おこゝろにかけさせられ、有難く感銘仕ります」

も一度深く、衿あしが見えるまでに頭をさげた半六の、きれいな首すじの生え際に絵島は危ない崖っぷちをのぞいたように、ゾク。りとした顫えをおぼえるのだった

交竹院は「うん」と、胸にうなずき、

「遠慮なく申上げて、お縋り申されよ」

半六にいいのこして座をはずした。半六はそれを見送ると、膝に立てた扇子に両手をのせた姿勢で、じっとうつ向いている。

（まァ、わたしとしたことが……生娘でもないのに……）

ときめく胸を苦笑に圧さえて、

「あの、お米の値段と申すものは、ときによりまして高下のひどいものにございますか」

先ず、なんということなしに、そんなことから半六の口を割らしにかゝる。

「は、お言葉のとおり、年によりまして高低の甚だしきものにござります。それ故に致しまして、御公儀でも、お貼紙値段という建前をおとりになって居るわけにござりまして、これは旗本の人々に対し、その時々の米の値段により まして、俸禄を御下げ渡しになるのではなく、数年、或は七、八年の相場を平均致しました値段を割り出して支給される定め、これを即ち、お貼紙値段と申すのでござります」

「なるほど、さようなわけのものでありましたか。わたくし、はじめて得心致しました」

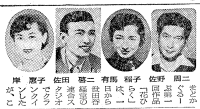
「は、それ故、米価暴落のときと雖も、旗本衆におかれましては、決してその時価でなく、数年平均の値段にて支給されまする故、お勝手向きにさしたる響きがないと申すもの、つまりは御仁政のあらわれかと存じ上げますしだい」

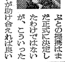


俳優グループ（まどか にんじん）初の提携映画製作
「胸より胸へ」で新しい試み

鶴田浩二主宰の「クレインズ・クラブ」は一時解散かと伝えられている一方では、佐野周二、佐田啓二などの「まどかぐる―ぷ」が第一回自主作品「花ひらく」の製作に着手し、また久我美子、有馬稲子、岸恵子の「にんじんくらぶ」も東京映画で「船場の娘」を若槻繁第一回プロデュース作品として目下撮影中という盛況である。続いてこの両グループは更に俳優グループ相互の初の提携作品として、高見順原作の「胸より胸へ」をとりあげることに決定した模様でこれは映画界注目の的の俳優グループ活動が、更に新しい段階に踏み出したものとして話題を呼んでいる。

まどかぐる―ぷ　これには佐野周二以下まどか全員の十一名が出演して八月上旬にクランクする予定の「胸より胸へ」は、かねてから有馬稲子が映画化を希望した作品で、にんじんが聖画との提携製作と決定していたのだが、この作品は四月製作開始の予定が監督の選定などで三転、四転しやっと家城巳代治監督と落着いたものゝ、こんどは相手役が決まらず、まどかぐる―ぷとの提携で佐田啓二の出演に内定したものである。つまりいままではてんでんばらばらに活動していた俳優グループがはじめて具体的な相互援助に踏出したものとして今後の動きが注目されている。ところが一方グループ作品というと各社とも余り良い顔をしてはくれぬ模様で手持ちスターを貸してはくれぬ模様で「船場の娘」では主演の岸恵子は早くから決定したものゝ、その相手役が決まらず池部良、根上淳、扇雀、林成年と転々、このほどやっと山内明で落着いたなどという苦しみはまだつきまとっているようだ。これについて若槻繁（写真）プロデューサーは「まどかぐる―ぷとの提携はまだ正式に決定したわけではないが、こういった形でグループが助け合えれば良いと思う。何分手馴れぬことなので、まだスムースとはいえぬが、みんなで協力して良い作品を作ってゆきたい」と語っている。


岸恵子　佐田啓二　有馬稲子　佐野周二







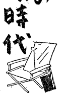
（ほ）（お）（え）（む）（人）（魚）

……イヴォンヌ・サヴィッジ……

○…ロンドンの有名な公園ハイド・パーク。ちょっと湖水ほどもある水泳場でノウ〳〵と日向ぼっこしているのは舞台女優のイヴォンヌ・サヴィッジ。生れはアルゼンチンのブエノス・アイレス。目下はガーリック劇場で「失われた世代」に出演中ですが、マチネーはあっても、二部制などという時代錯誤な興行はやりませんから、日中はかくの如く遊んでいられるというものです。

○…彼女は二十二歳。ブエノスからやって来てロンドンの劇場でデビューしたのは八年前だから十四のときで、チョイで出たパントマイムが大変ほめられたからです。最近は「舞踏会の夜」でグレディス・クーパーの相手役をやったり、ウェンディ・ヒラーの代役もつとめています。そんなステージでの成長とともに、これこの通り、胸の方もふくらんで、男ごゝろをそゝるようにもなりました。【写真はAP特約】

ボクの下積時代 ⑯
春原政久の巻
派手な病氣で損と得
所長の口止め料？で一本に昇格




春原監督

いつもニコニコ笑っているからって別にご機嫌さんなわけじゃないサ。生れつき愛想が良くできた顔なんだろ」とスノやんはいうのである。つまり彼スノハラマサヒサ監督は、しらふの際は一切感情を表面に出さぬことにしているというわけだ。だからその反面、一度アルコールが入ったとなれば、堰を切った怒涛の如くしゃべりまくる、その凄さは実に威勢が良いの一語につきる。彼は昭和三年、二十三歳で日活京都に入社した。その頃この撮影所には村田実監督以下溝口健二もいたし俳優も中野英治に月田一郎、二年後には山田五十鈴も入ってくるといった全盛時代だった。だから「日活にいるのやでー、あんじょう安くしといてなァ」などといえば、一杯飲屋はもちろんちょっとした小料理屋でも案外なモテかたで二度三度となれば勘定も月末になる天下泰平の頃だったのである。彼のようにきのう入ったばかりの新人でも、撮影所の一歩外に出さえすれば大手を振って歩けたものだ。それはともかくしじゅうニコニコ顔だったから彼の評判は大変良かった。たとえば「何をボヤボヤしてんのや。ライト移動やないか。早よう連絡せんかいな」なんて飛ばされても、「休憩やでー、誰か次のシーン準備しといてなあ」などといわれると、真ッ先に引受けるのが彼だったのである。こうして外ではモテるし、内でも人気は日増しに良くなっていったが、良い事はそう永続きするものではない。ある事件が起きてパッタリ人気凋落てなことになったからこれは悲劇だった。つまりスノやんは常々ニコニコの内訌した分を外でぶちまけていたわけだが、それが高じてついに病気を頂戴するという面目ないハメに落入った次第なのである。

もっともその頃この世界には、この病気が流行して、仲間の伊賀山正徳もおなじように病院通いをするメンバーだったそうだ。いずれにせよこれで彼の信用はガタ落ちになったのは確実で、その上治療費が、何分現金払なだけに悲鳴をあげざるを得なかった。そこで彼あちこちと病院を転々したのだが、その六軒目の病院でパッタリ伊賀山青年と会った。同病相憐む口の二人は仲好く治療に及んだわけだが、さてその治療室というのが首だけ出して、後はカーテンのなかにかくれて寝るという案配だ。しかも、専門病院だからズラリと並んで一時にやってもらうという具合だ。ところがスノやんが三人目に寝ている男を見ると、どうもどこかで見たような気がする。といって首をおこすわけにはいかない。ジリジリしている間にその男は治療が済んで先に行っちゃったのである。

そしてその翌日彼と伊賀山青年は突然所長室に呼ばれたのである。「君達もよくやってくれるから、近く一本撮らせることにしたよ。…まあよけいなことはいわんこっちゃねへへへへ」と笑ったのである。そして昭和八年に彼は「僕等の弟」で一本になった。もちろんその匿名を根岸所長がつけたのはいうまでもない話だ。

映画やぶにらみ
続宮本武蔵＝（東宝）
いま一息の迫力がほしい

▽…吉川英治原作「宮本武蔵」の第二部。鎖鎌の達人宍戸梅軒（東野英治郎）を倒した武蔵（三船敏郎）が京の名門吉岡清十郎（平田昭彦）一門と一乗寺で決戦をくりひろげるまで。強いばかりが能ではないと彼をさとす本阿弥光悦（御橋公）の計いで全盛の花魁吉野太夫（木暮実千代）と知り合ったり、少年城太郎、佐々木小次郎（鶴田浩二）なども新たに登場、これに武蔵を慕うお通（八千草薫）朱実（岡田茉莉子）愛欲に盲いた女お甲（水戸光子）などの色模様が絡まっている。演出稲垣浩。

▽…戦前派には非常に親しまれた原作だし、何度も映画化された作品だからなかなか楽しく見ていられる。第一部に比べると色彩もグンと安定した美しさを増したようで、廓の内部、吉岡伝七郎（藤木悠）と闘う三十三間堂の夜景など特にキレイだ。純愛一途に生きるお通をはじめ、朱実、吉野太夫などの女の哀歓を底にうたいながら多彩な登場人物もソツなく描きあげられて娯楽味は十分だが、いまーとすじ最後の乱闘シーンへのスリリングな迫力がほしいところ。いいかえれば稲垣演出は少々線が細すぎたきらいがあるといえよう。（静）【写真はその一場面、三船と八千草】



契約金で折合わず
菊五郎劇団の十一月東京宝塚出演

東宝では、東京宝塚劇場の十一月興行に菊五郎劇団を企画しているが、契約料金が折合わず暗礁にのりあげた模様である。菊五郎劇団の東京宝塚劇場出演については、去る六月十日秦豊吉氏と菊五郎劇団理事の尾上鯉三郎、総務片岡十合雄氏らとの会談により、北条秀司の書下し「玉藻物語」の上演まで候補に出されていたが菊五郎劇団の場合は総勢約百五十名丸抱えでないと応じられぬ立場にあるので、二本立一部制興行ではどうにも採算がとれぬためである。これについて尾上鯉三郎はつぎのごとく語った。

「東宝では一人一人の給料を明らかにし、出演しないものには給料を出さぬ方針なので、うちのように最低百五十人という大世帯を全部背負いこむことはなかなか困難です。二本立ですから必要のない役者もいるだろうが団体で契約してもらわねば出演に応じられません」

寄席上席

上野鈴本＝（昼）歌奴、正蔵、小円朝、円歳、馬の助、喜代志、笑子・美智子、小仙・小金、馬風（夜）馬楽、馬生、さん馬、和子・〆子、つばめ、文楽、かつ江、千太・万吉、志ん生、柳枝

新宿末広＝（昼）金太郎、柳昇、米丸、助六、小柳枝、牧野周一、ぴん助・美代鶴、柳橋、円遊、雛太郎（夜）遊三、円右、シャンバロー、夢楽、紋也、三木助、山陽、李彩、枝太郎、小文治、正楽、円

栗友亭＝正蔵、小円朝、染之助・染太郎、馬風、鯉香、馬生、さん馬、悦郎・艶子、貞山

川崎演芸場＝りら馬、米丸、柳好、ひろし・まり、牧野周一、円遊、紋也、三木助、ぴん助・美代鶴、枝太郎

野崎整子改名　ビクターの人気歌手野崎整子はこんど野崎せい子と改名した。

都々逸　石井きんざ選

初手から介抱さす気で今夜　いつもと違った酔いつぷり　北・浜野浮舟

濡れてにじんだうれしい便り　貴方の顔が目に浮かぶ　文京・木村いつ秋

ぐつたり座席にもたれたまんまいで湯帰りの二人づれ　神楽坂・藤村家谿子

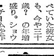
小さないさかい無口になつて　うるんだ目で見るおぼろ月　所沢・小金井きよか

馴れぬ酒無理やりほして　今夜は貴方のなすがまま　市川・川崎火呂志

◇

あの人を取られりや望みの無くなる体　取つた誰かは人殺し　選者

はと笛



▽…いまは昔の語り草となった軽演劇のメッカ、新宿ムーランルージュ創生期の人気もの春日芳子は、現在懐しの新宿歌舞伎町に喫茶店Sを開いてマダムに納まっているが、こんど数年ぶりに芸研プロ、古賀聖人監督の映画「柿の木のある家」に出演することになった。

▽…赤い風車の下でお河童頭をふりながらムーラン哲学第一講を述べていた彼女も、今や三十歳？の年増盛り。ショウ・チームを作って自らも踊ったり、ムーランという名の洋裁店を開いたり、またラジオの声優として特異のガラガラ声を聞かせたりいろいろとあったが、こゝいらで彼女も落着きそうとはお目出たいやら、チト淋しいやらというところ。【写真は春日芳子】

おたのしみ告知板

映画・音楽・演劇会・趣味の集い・ダンスパーティ・レコードコンサートなど、何でも一般の参加を望む集りにご利用下さい。投稿は官製ハガキ。九〇字以内。宛先中央区銀座三ノ五内外タイムス社日曜告知板係。

◇第一回民謡教室　渋谷宮益坂ビル一階の「ふるさと」では、第一回民謡教室を本三日午後七時より開催する。講師は斯界の権威青木好月、吉田南星両氏だが、特別出演としてレコード、ラジオで既にお馴染みの民謡歌手太田はま子さんも歌う、来場自由。

懸賞 サイコロ・クイズ

毎回のご好評にこたえて第18回のお楽しみ『サイコロ・クイズ』を行いますハガキに下記六店中、二店の名前とサイコロの目を書くだけで結構です。例えば『二の〇〇商店五の〇〇商店』本社でサイコロを二つふって当選店名をきめ、正解者多数の場合は抽選によって下記の賞品を差上げます毎日曜日のお楽しみにどうぞ

（賞品）紳士腕時計 一個 一名　ワイシャツ靴下 一組 三十名　ポマード 一個 三十名

送り先　中央区銀座三の五内外タイムス社 サイコロ・クイズ係
〆切　7月7日（当日消印有効）
発表　次回日曜発行の本紙（7月10日）